



ふれあい西本郷小

平成30年度

4月号


横浜市立西本郷小学校 学校だより

平成30年 4月 5日(木)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ: あいさついっぱい みんながえがお 西本小

活力と魅力ある学校をめざして!!

学校長 川上 裕二

校庭の桜や色とりどりの花々が、子どもたちの入学や進級を祝い、「別れ」や「出会い」という大きな節目を温かく見守っています。平成30年度は、87名の新1年生を迎え、全校児童500名でスタートしました。子どもたちは、夢や希望に胸をふくらませ新学期を迎えました。新しい先生、新しい教室、新しい学習等、さまざまな出会いを大切にしながら、子どもたち一人ひとりが自分の力を発揮して行ってほしいと願っています。

先月、大きく成長した卒業生68名が、西本郷小の伝統を受け継ぎ、大変立派な態度で巣立っていきました。呼びかけや合唱も、心のこもった素晴らしいものでした。また、学校を代表して式に参列した5年生の態度もまた、大変立派でした。前日の会場準備でも、一生けん命働き、「6年生に気持ちよく卒業してもらおう」という想いと、「これからは、自分たちが最上級生としてがんばるぞ」という意気込みが伝わってきました。新6年生の活躍に大いに期待していきたいと思います。

さて、卒業式では、こんなお話をさせていただきました。

スキーの転倒事故で首の骨を折り、一瞬にして首から下が動かなくなってしまった、もと中学校教師・腰塚勇人（こしづかはやと）さんが、自分の体験を「命の授業」と題して全国で講演活動を行っています。その中で腰塚さんは、『5つの誓い』という自分自身への約束をしています。

- ★口は、人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うために使おう。
- ★耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- ★目は、人のよいところを見るために使おう。
- ★手足は、人を助けるために使おう。
- ★心は、人の痛みがわかるために使おう。

学校では、子どもたちが「生きる力」を身に付け、自分自身を大切にし、命の大切さ、生きることの素晴らしさ、両親・家族・仲間大切さ、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについても学んで行ってほしいと思っています。

新たな職員組織で、本年度も歴史と伝統を継承しつつ、「保護者、地域から信頼され、安全で安心して子どもをあずけられる小学校」「いつも元気で明るく通学できる小学校」を目指し、職員一同心を一つにして努力してまいります。

～ 学校教育目標 ～

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子